

H30 都立府中東高校 BOXING部

●10月27日 神奈川県武相高校 遠征

日体大や朝鮮高校同様、頻繁にお世話になっている全国区の強豪校、武相高校にお邪魔しました。神奈川県の新入戦も東京都と同日程で行われるため、調整も兼ねて快く受けてくださいました。

本校から新入戦に出場する男子部員5名と全日本女子選手権に出場する3年星野千梨菜はスパーを行い、それ以外の選手はスパーを見学、スパー後のマスボクシングに参加しました。

2年天野のスパーの相手は田中空選手。4月19日から28日までタイのバンコクで開催されたASBCアジアユース選手権大会で3位入賞を果たし、8月20日から31日までハンガリーのブダペストで開催されたAIBA世界ユース選手権大会に出場した国際レベルの選手です。レベルは一枚も二枚も上。1R目中盤、スピードとパワーを兼ね備えた的確なボディブローでダウン。その後再開し、頑張って耐えて1R終了。2R目は終盤まで天野も積極的に攻めましたが、再びボディブローでダウンとなりました。

「今までの相手が攻めてこないところで攻めてきた」「スピードとパワーがすごかった」は天野談。

世界のリングに立つ選手が攻め込んでくる、打ってくるタイミングを、身をもって知ったことが一番の収穫で、これが後々活きてきます。

3年の星野は相手が男子選手のため、スパーまではいきませんでした。マスとスパー

の間といったところでしょうか。しかしこれもいい経験。何しろ相手は全国トップ選手の藤田選手。手を合わせるだけで手を出してくるタイミング、バリエーション、コンビネーションなど参考になることばかりです。これから出場予定の全日本女子に向けて、とてもいい時間を過ごしました。



天野(2年)



星野(3年)



芦川(1年)



永井(1年)



山口(1年)



マスボクシング(全体)



萩原(1年)

1年生も新入戦前に普段できない相手と手を合わせるだけで良い経験です。中にはカウントをとり

帰りのミーティングで「全国区の強豪校で練習をしている選手からカウントをとったことで、自信に繋がった」と話した部員もいます。もちろんカウントをとられた選手もありますが、今の部員はここであきらめません。絶対に負けない、強くなってやる、という気持ちを持つ部員たち、これからも応援をしてください。

**梶田先生、武相高校の選手の皆さん
ありがとうございました！**